

平成 22 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事要旨

1. 日時 平成 23 年 1 月 17 日（月）15:00-17:00

2. 場所 国立情報学研究所 22 階会議室

4. 議事内容

(1) 新委員の紹介

坂内本部長から、資料 1 に基づき、交替（石川裕委員）及び新規（吉田次郎委員）の委員について、紹介があった。

(2) 次期学術情報ネットワーク（SINET4）の構築状況について

山田委員から、資料 3 に基づき、次年度から運用を開始する SINET4 に係る構築状況及び移行日程等について、報告があった。坂内本部長から、第 2 期アクセス回線共同調達を実施予定である旨説明があり、広範な利用を促進すべく各所にて広報を行うこととした。

(3) 平成 23 年度学術情報ネットワークの整備計画について

坂内本部長から、資料 4 に基づき、概算要求の結果及び平成 23 年度学術情報ネットワークの整備計画の方針について説明があり、ノード未設置県 9 県（岩手、秋田、栃木、三重、滋賀、和歌山、島根、高知、佐賀）への新規ノード設置について最優先に取り組み、その後必要な回線の増速を行うこととなった。

(4) 今後の学術情報ネットワークに関する課題について

坂内本部長から、資料 5 に基づき、今後の学術情報ネットワークに係る課題の概要、スケジュール、検討体制について説明があった。今後の検討体制として、企画作業部会を実質的な議論の場とすることが了承された。野崎委員から、学術インフラの整備に係る予算の安定的確保が必要である旨、発言があった。

(5) 企画作業部会報告

阿部准教授（企画作業部会副主査）から、資料 6 に基づき、活動報告（学術情報基盤に関するアンケート、アクセス回線共同調達実施、学術情報基盤オープンフォーラム 2010 の開催等）があった。

川島委員から、アンケート結果（有償・無償の別、利用率の算出方法における機関・人の別等）が誤解なく利用されるよう留意願いたい旨、岡部委員から、大学におけるクラウドサービスの利用については一部不正確な報道等もあり留意が必要でありまた大学間での情報共有の必要性が増している旨、そして、坂内本部長から、アライアンスを形成し関係

各所への発言力を強化するための一層の検討・取組みに期待したい旨、及び、認証基盤についてはニーズを踏まえたサービスの提供促進が重要である旨、発言があった。

(6) ネットワーク作業部会報告

山田委員から、資料 7 に基づき、活動報告（SINET4 設計方針、SINET4 におけるノード校への接続ポリシー、費用負担の在り方等に係る検討等）があった。

(7) 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 8 に基づき、活動報告（学術認証フェデレーション実施、UPKI オープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト進捗、eduroam 実施等）後、学術認証フェデレーション実施要領の改訂（3 条「定義」及び 4 条「参加機関」における追加）について諮られ、原案のとおり了承された。

(8) 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

曾根委員から、資料 9 に基づき、活動報告（サンプル規程集の改訂、大学等へのセキュリティポリシーの普及促進活動等）があった。

(9) その他

坂内本部長から、資料 10 に基づき、大学 ICT 推進協議会の紹介があった。

安達委員から、資料 11 に基づき、革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）の進捗状況（基本仕様に係る調査検討において、NII が認証基盤、ネットワーク基盤の主担当となる）について報告があった。

坂内本部長から、認証基盤について、HPCI を含む多分野からの要求が寄せられており、学術分野の認証基盤として十分に機能させるため盤石の基礎を築く必要があり、NII として精力的に推進していく旨、発言があり了承された。

坂内本部長から、グリッド作業部会について、HPCI との関連で研究プロジェクトやシステム実証プロジェクトとしての活動は今年度で終了とし、今後、情勢が明確になった段階で改めて議論等を行いたい旨、説明があった。

以上